

障がいのある子どもたちと未来の「特別支援教育」を支える人材を育てます。

		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	卒業認定・学位授与方針 卒業までに身に付ける能力		
		基礎	基礎・展開	展開・応用	発展			
専 門 科 目	【教育学基礎】 教育学概論	教職論 教育哲学 教育社会学		教育方法学 教育課程論	教育の社会と制度			Diploma Policy 1 教育に関する確かな知識やそれを伝える豊かな表現力を持ち、激しく変化していく社会の教育課題に的確に対応できる高い技術を身に付けている。
	【心理学等】 教育・学校心理学		特別支援教育の基礎	障害児心理学 教育相談	生徒・進路指導の理論及び方法			Diploma Policy 2 子どもの心身の成長を支え、さまざまな課題を発見し、その問題を主体的・積極的に工夫し、解決する能力を身に付けている。
	【伝統】 教育史							Diploma Policy 3 日本の歴史と伝統そして文化に立脚した広い視野を持つと同時に、それは真なる歴史や伝統、文化を持つさまざまな世界を尊重しながら未来を創造していく教育に関心を持つ資質を身に付けている。
	【ゼミナール・選択基礎演習】 教育研究基礎演習Ⅰ スポーツ健康科学演習	教育研究基礎演習Ⅱ	教育研究基礎演習Ⅲ	教育研究演習Ⅰ プロジェクト研究Ⅰ	教育研究演習Ⅱ プロジェクト研究Ⅱ	教育研究演習Ⅲ プロジェクト研究Ⅲ	教育研究演習Ⅳ プロジェクト研究Ⅳ	
		【施設・教育実習等】 介護等体験実習		教育実習事前事後指導(小学校) 教育実習事前事後指導(中等)	教育実習(小学校) 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ	特別支援教育実習事前事後指導	特別支援教育実習	
	【指導法(基礎)】 道徳の理論及び指導法				特別活動の指導法	総合的な学習の時間の指導法	教職実践演習(初等)	
		【特別支援教育基礎】 特別支援教育総論 障害児療育論		特別支援教育課程論	病弱児教育方法 特別支援教育授業論 障害者スポーツ論			
		【特別支援教育専門】 知的障害教育Ⅰ 知的障害児の心理・生理・病理		肢体不自由児の心理・生理・病理	知的障害教育Ⅱ 病弱児の心理・生理・病理			
					【指導法(専門)】 障害児指導法Ⅰ 障害児指導法Ⅱ(心理等) 障害児指導法Ⅱ(教育課程等) 障害児指導法Ⅲ(心理等) 障害児指導法Ⅲ(教育課程等)			
								Diploma Policy 4 教師としての使命感や責任感を持ち、多様な他者と協働しながら目標に向かい、よりよい社会の実現に寄与することができる。 Diploma Policy 5 高い志、公正な態度、広い視野、柔軟な思考等、教師としてふさわしい人格を身に付け、子どもに知育・徳育・体育の指導を適切にバランスよく行うことができる。 Diploma Policy 6 【特別支援教育】 特別な教育的ニーズに応じた教育の理論と実践を修得し、子どもたちの実情や能力に応じた適切な教育支援ができる。

赤字:重要科目

注目の科目

障害児心理学

知的障害児の実態を把握し、効果的な指導法を学ぶ

運動・認知発達から対人関係性など、幅広い領域に対してアプローチしながら、知的障害児に対する認知・社会性・学習・運動などの特性を理解。それをふまえて、効果的な指導法や適応の留意点について学びます。

特別支援教育総論

特別支援教育を専門的に学ぶ基礎となる科目

特別支援教育の理念・歴史・法制度などについて学びます。同時に、特別支援教育の現代的テーマや将来的ビジョン、特別支援教育が持つ学校教育全体にとつての意義などについて、具体例に基づきながら学んでいきます。

最近の主な卒業論文のテーマ

- 肢体不自由児の視線入力装置の活用
- 発達性協調運動障害の疑いのある児童生徒へのよさこい踊りを用いた認知作業トレーニングの効果に関する研究
- 気持ちのコントロールの向上をめざした集団ゲームによるSSTあそびの効果に関する研究ー自閉症スペクトラム児を含む放課後児童クラブでの実践ー
- 「表とグラフ」「時計」の理解を促すための教材の工夫に関する研究ー知的障害と肢体不自由が重複している小学校2年生男児の場合ー
- 児童のプログラミング的思考の変化についての考察